

1 広域的路線の再編

実施結果と今後の取り組み

◆ 計画（交通空白地の解消）

鉄道を利用して移動ができない複数の交通拠点間を結ぶ、鉄道駅や病院、学校を經由する路線の新設

① 「石和温泉駅～市立甲府病院～山梨大学医学部附属病院～東花輪駅～フォレストモール富士川」 **（未実施）**

- ・ リニア開業による効果が見えず（時期尚早の意見）、沿線市町や事業者の調整がつかなかった
- ・ コロナウイルス感染症対応の影響により、乗車人員に影響が出ている中、新規路線は困難

⇒ **リニア開業を見据えて、バス路線実現の可能性について引き続き検討**

② 「塩山駅南口～酒折宮前」 **（平成29年4月～令和2年3月廃止）**

- ・ 広域的路線の空白地域を解消し沿線高校生の通学等に利用（運行当初は2往復していたが、平成31年4月から1往復に減便）
- ・ 利用客が少ないことから、バス通学が可能な高校ごとに時刻表を作成し、各学校に配付するとともにホームページに掲載
- ・ 令和元年事業年度における1便あたりの乗車人員は1.9人
- ・ 乗車人員の増加が見込めず、補助金等を活用した路線の継続が困難

◆ 計画（既存広域路線の利便性向上）

通勤・通学に対応した住宅街を經由する路線の夕方・夜間の時間帯の**増便**

③ 山梨交通で「敷島営業所～長塚～甲府駅～後屋団地～山梨大学医学部附属病院」路線を夕方時間帯1往復増便 **（H29.4～運行中）**

- ・ 通勤・通学の時間帯の運行により利便性が向上

③ 「中央病院～甲府駅～甲府市西部住宅街～西野～南アルプス市役所」 **（未実施）**③ 「甲府駅～甲府市・昭和町住宅街～イオンモール甲府昭和～山梨大学医学部附属病院」 **（未実施）**

- ・ 利用者が少ないため増便が困難

⇒ **乗車調査の実施により、起終点の変更やダイヤ変更等の増便以外の対応を検討**

◆ 計画（既存広域路線の利便性向上）

移動の目的地となる大規模商業施設等への起終点や経路の見直し

④ 山梨交通で「甲府駅～十五所～南アルプス市甲西支所線」をフォレストモール富士川まで4.5便延伸 **（平成29年4月～運行中）**

- ・ 大規模商業施設との接続により買い物客等の利便性向上

【今後の取り組み】

- バス交通ネットワーク再生計画の考え方を踏襲し、計画推進体制は維持していくこととし、沿線市町や事業者と引き続き協議し、利用者の利便性向上のための方策を検討していく。

2 地域内路線の再編

実施結果と今後の取り組み

◆計画（広域的バス路線・鉄道との接続強化）

市町村圏域を越える広域移動の円滑化に向け**広域的バス路線や鉄道駅と接続する路線の新設・再編**

【実施状況】

- a 甲府市：「古関～市立甲府病院線」を南甲府駅まで延伸（平成28年10月）
- b 南アルプス市：市内バスの竜王駅、東花輪駅への延伸（平成28年10月）
- 2 甲州市：勝沼地域バスの塩山駅延伸（平成29年4月）

◆計画（移動目的地との接続強化）

観光地、大型商業施設、学校、医療・福祉施設など**移動目的地と接続する路線の新設・再編**

【実施状況】

- e 富士河口湖町・鳴沢村：河口湖駅～精進湖・本栖湖の新設（平成28年4月）
- d 南アルプス市：市営施設をハブとした市内バスの再編（平成28年10月）
- e 都留市：「谷村町駅～道の駅つる～リニア見学センター線」の新設（平成28年11月）
- 3 甲州市：塩山地域の観光地を巡る季節循環バスの運行（平成29年4月）
- 4 身延町：町内縦断線の経路変更、「飯富周辺～身延町役場～鯉沢営業所線」の身延高校・フォレストモール富士川・鯉沢口駅への延伸（平成29年4月）
- 1 北杜市：大武川地区と長野県富士見町とを結ぶデマンド交通（富士見町商工会）の運行（平成29年7月）

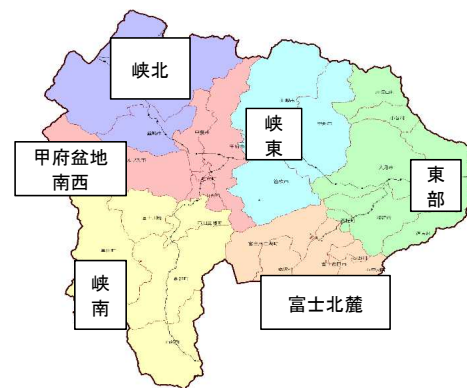
◆地域内交通の更なる再編の取り組みを進めるため、県内6圏域に設置した地域バス路線検討会を開催（平成25年度～）

→地域内のバス交通の利便性向上や活性化について意見交換

・構成：バス事業者、市町村、国（山梨運輸支局）、県

【令和元年度の開催状況】

- 1 甲府盆地南西（令和2年3月3日）
- 2 峡東（令和2年3月4日）
- 3 峡北（令和2年3月6日）
- 4 峡南（令和2年2月27日）
- 5 富士北麓（令和2年3月5日）
- 6 東部（令和2年3月5日）



○地域バス路線検討会 構成市町村一覧

圏域名	構成市町村
甲府盆地南西地域	甲府市、南アルプス市、甲斐市、中央市、富士川町、昭和町
峡東地域	山梨市、笛吹市、甲州市
峡南地域	市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町
峡北地域	韮崎市、北杜市
富士北麓地域	富士吉田市、道志村、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町
東部地域	都留市、大月市、上野原市、道志村、西桂町、小菅村、丹波山村

※富士川町は、「甲府盆地南西」、「峡南」の両地域に加盟
道志村は、「富士北麓」、「東部」の両地域に加盟

◆令和元年度の再編状況（再生計画に掲載していない路線）

- 甲府市：上九一色・中道地区コミュニティバス早朝便に、5人乗り乗用車を追従
- 韮崎市：市民バス竜岡線の運行経路及びダイヤを変更
- 南アルプス市：竜王駅～東花輪駅間を往復する路線を増設
- 甲斐市：路線バスとの接続を良くするため、出発時間を早めて運行
- 中央市：中央市コミュニティバスの土曜日運行を開始
- 道志村：高校生を対象とした「通学支援バス事業」を路線化
- 富士河口湖町：鳴沢・精進湖・本栖湖周遊バスを1本増便

3 リニア中央新幹線開業を見据えたバス交通

バスネットワーク再生計画(H29.3)

リニア駅と県内各地を結ぶバス交通ネットワークの確保

◆ 計画（リニア駅周辺）

○本県の新たな玄関口として、駅北側はパーク＆ライド駐車場や一般交通を対象とした乗降場、駅南側に公共交通を対象とした乗降場を整備

◆ 計画（リニア中央新幹線の開業を見据えたバス交通）

○リニア駅と甲府駅を結ぶバス交通システムについては、速達性、定時性が確保され、ハイグレードなバス交通によるバス交通ネットワークの基幹軸の形成を目指す

○リニア駅・甲府駅を中心に県内外とのアクセス強化に向けバス路線の整備を目指す

リニアやまなしビジョン(R2.3)

リニア開業に向けて特に必要となる社会基盤の整備

新たなゲートウェイに必要となる機能

リニア駅は、本県の新たなゲートウェイとなるとともに、他県を含めたより広域なゲートウェイとしての役割も持つことから、**必要となる交通結節機能などを整備**していく。

県内交通ネットワークの充実

次世代交通システムも見据えた**リニア駅と県内の主要拠点を結ぶバス交通を整備**していく。

「リニア駅前整備の在り方検討会議」（後述）で整備の在り方を検討

リニアやまなしビジョンを踏まえた今後の取り組み

リニア中央新幹線がもたらす開業効果を全県に波及させるため、リニアやまなしビジョンの実現を目指す

- ・本県の新たなゲートウェイとなるリニア駅前エリアの整備に向けた具体的な検討を行う。
- ・リニア駅と小井川駅を結ぶシャトルバスの実現に向けては、速達性・定時性の確保の方策や運営方法・事業主体などについて検討し、開業時の運行を目指して準備を進める。
- ・リニア駅と甲府駅を結ぶシャトルバスについては、開業時の運行を目指して事業者などと議論を重ねる。
- ・その他の広域バス路線については、今後のバスへの需要変動を見極めながら、実現可能性の高いものから具体的な路線の設定が出来るよう事業者や地域の関係者等との議論を重ねていく。
- ・検討状況については、交通政策会議において適宜報告するとともに、意見を頂きながら進めることとする。